

高知憲法速報

No.260 2011. 6. 16

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

「憲法 96 条改正をめざす議員連盟」発足

6月7日午後、憲政記念館で超党派の「憲法 96 条改正をめざす議員連盟(96 条改正議連)」が結成されました。9 条など争点となっている条文の改憲では一致しにくいとして、国会の改正発議要件を引き下げることで改憲の風穴をあけることを狙っています。改憲を掲げる各党の靖国派や「日本会議」の議員たちが中立を装って結成したものです。「日本国憲法改正原案」として、「日本国憲法第 96 条第 1 項中『三分の二』を『過半数』に改める」との「憲法 96 条改正原案」の提出を確認しています。

各党単体に体制が取られており、次の役員が選出されました。○民主党／呼びかけ人代表・小澤鋭仁、幹事長・長島昭久、事務局長・北神圭朗、○自民党／呼びかけ人代表・古屋圭司、幹事長・下村博文、事務局長・古川禎久、○みんなの党／呼びかけ人代表・水野賢一、○たちあがれ日本／呼びかけ人代表・中山恭子、○国民新党／呼びかけ人代表・森田高、○無所属・その他／呼びかけ人代表／城内実、○公明党／(議員個人単位での参加)。

このほか、森喜朗、麻生太郎、安倍晋三ら元首相が自民党顧問として座っており、民主党の議員連盟には 200 人が参加しています。この日の総会では櫻井よし子氏が「来賓講演」を行いました。

震災を口実にした危険な動きに注意が必要

一森喜朗元首相語る 「政党間の話し合い」は、選挙制度、憲法など「四つのテーブル」で

6月9日付産経新聞「単刀直言」で、森喜朗元首相は、民主党と自民党などとの協議について、あけすけに語っています。森元首相の発言の一部は以下のとおりです。

「民主党が『力を貸してほしい』と言ってきているんだから絶好のチャンスじゃないですか。今こそ懸案事項を各党で話し合う『四つのテーブル』を置くべきなんだ」

「一つは、『震災復興・原発事故対策』、二つ目は『税と社会保障の一体改革』、三つ目は『選挙制度』、そして四つ目は『憲法』

「別に大連立にこだわらなくてもよい。超党派協議でもいいんだ」

「とにかくこの四つのテーマをみんなで真剣に議論し、1 年ならば 1 年と期限を区切って結論を出すことが大切なんですよ」

自民党の西村康稔政調副会長も 4 月 16 日東京都内で「これまでやろうとしたが出来なかったこと、進められなかったことを震災復興の機会に一気に進めるべき」と発言しています。消費税増税や TPP、道州制や経済特区などが、「大連立」のもとで強行されかねない状況があります。憲法をめぐるのは、先の参議院憲法審査会規程の民主、自民などの共同での議決強行、その後「衆参同時始動」の民主党提案(衆院議運 5/27)などと事態は樂觀できません。改憲を含め、政局は激しく動いており予断を許しません。

東京では「労働者・国民の声を国会から締め出す比例定数削減に反対する大集会」が 6 月 9 日夜、1200 人以上が参加して開かれました。

アイスランドの地熱発電所 伊藤千尋さん講演より

「憲法運動」6 月号は 5 月 3 日東京の憲法集会が特集されています。ゲストスピーチをした伊藤千尋さんの発言の中に興味深い話がありましたので一部紹介します。

ヨーロッパにアイスランドという国があり、この国には世界最大の露天風呂がある。約 5000 平方メートル、サッカー場 2 面分の広さ。すぐそばに地熱発電所。地下のマグマで温められた地下水が水蒸気となって吹き上げてくる、これでタービンを回して電気をつくる。この国は地熱発電と水力発電で電力のほぼすべてをまかなっている。日本に帰って調べてみた。日本の地熱発電は電力の 0.2%、でも研究所があって、地熱発電所を日本で開発したら原子力発電所 20 基分の電力がとれるという数字が出ている。日本の原発は 54 基あるが、稼働しているのは 28 基。他に風力発電でも原発 40 基分とれるので原発などいらぬ。風力も地熱も自然の恵み、燃料費タダでできる。なんで日本でやらないのか、日本に技術がないのか調べてみたら、世界の地熱発電のタービンの技術を持っているのは日本の富士電機という会社、世界の地熱発電の総発電量の 25%を占めるのは日本の東芝。技術はあるのに使わない。どこかの憲法と同じだ。

(憲法運動 6 月号はイギリス小選挙区制の論文も掲載)

憲法署名街頭宣伝

6 月 18 日(土) 九条の会・憲法会議共催 1:30~

7 月 2 日(土) 九条の会 1:30~

7 月 16 日(土) 九条の会 1:30~ いずれも帯屋町